

第21回全国大会公開シンポジウム シンポジウムA 国際文化学の今日 —移民と多文化共生—

- 開催校企画シンポジウム講演・岡田浩樹 003
 企画趣旨・工藤晴子 006
- 【基調講演】
 21世紀におけるアメリカ合衆国の移民・難民問題●小井土彰宏 008
 パネリスト講演1「日本におけるペトナム移民の現在」●野上恵美 019
 パネリスト講演2「EU圏のディアスpora」●松井真之介 023
 ●「司会」工藤晴子
 ●「パネリスト」野上恵美、松井真之介

シンポジウムB 国際文化学の現在と未来 —世界から宇宙を考える、宇宙から世界を考える—

- はじめに●岡田浩樹 040
- 【基調講演】
 地球／月圏での人間社会の構築に向けた人文・社会科学研究●柳川孝二 042
 【パネル・ディスカッション】
 パネリスト講演1「平和な宇宙のための法と徳——カントとアリストテレスの視点」●立花幸司 064
 パネリスト講演2「なぜ、有人宇宙を目指すのか？」●清水順一郎 078
 コメント●鵜口清司 097
- 「司会」岡田浩樹
 ●「パネリスト」立花幸司、清水順一郎
 ●「ディスカッサン」鵜口清司

第21回全国大会公開シンポジウム シンポジウムC 研究論文

- 「日中のテレビドラマにおける独身女性表象」
 —『問題のあるレストラン』と『歓楽頃』の比較から●呉程穂 122
 建造物の「破壊と再生」過程と文化的記憶の在処を
 めぐつて——ベルリン王宮再建に関する議論から考察する●斎藤理 139
 変容不可能な文化要素としての「永遠」の主題——ブルーストの
 ボードレール受容に基づく文化触変モデル理論拡張の試み●高橋梓 160
 1900年パリ万博のリュイユラグにみるフインランドの選択
 —芸術家アセリ・ガッレン＝カッレラに着目して●田中佑実 176
 追悼碑における記憶の衝突
 —福岡県飯塚市納骨型追悼碑無窮花堂を事例に●大和裕美子 192
 研究ノート
 「地方都市で増加する技能実習生から考える
 多文化共生社会づくり——若者に着目した支援の必要性について
 ●ウイルソンエイミー、林省一、岩野雅子 209

- 「不可観な排外主義」を可視化するアートの可能性
 —シンポジウム「多様な文化と社会包摂の未来を考える」の問題提起
 ●山口祐香、南田明美 219
- 書評
 外村大編『和解をめぐる市民運動の取り組み——その意義と課題』
 ●大和裕美子 230
 深松亮太著『政治風刺画による「社会不安」の可視化と「黒人支配」への恐怖
 —20世紀転換期の米国地方紙にみるネガティブ・キャンペーンと「人種」●木原誠 234
 【会員の著書紹介】
 *菅野敦志「和解をめぐる市民運動の取り組み——その意義と課題」(外村大編)
 *稲井博義「子どもが福祉施設と教養思想の社会史——石井十次から富田象吉、高田懷吾へ」
 *西芳実「夢見るインドネシア映画の挑戦」
- 【国際文化 私の3冊】
 国際文化学からグローバル文化学へ——「日本」からの投企●芝崎厚士 240
 英文目次
 ABSTRACT 246
 編集後記 248
 日本国際文化学会2022年度事業報告 253
 日本国際文化学会第21回全国大会プログラム 254
 日本国際文化学会第22回全国大会開催予告 255
 第12回平野新健一郎賞受賞者 260
 全国大会発表要項について
 2022～2023年度役員及び各種委員一覧 262
 日本国際文化学会規約 263
 「インターナショナル：日本国際文化学会年報」編集要項 268
 平野处一郎賞規程 270
 「インターナショナル：日本国際文化学会年報」投稿規程 272
 平野处一郎賞規程 274